



2019年8月

- [Cisco DNA Spaces の概要](#) (1 ページ)
- [新機能 : 2019年8月](#) (2 ページ)
- [Cisco DNA Spaces ランタイム](#) (3 ページ)
- [機能強化 : 2019年8月](#) (4 ページ)
- [不具合](#) (4 ページ)

Cisco DNA Spaces の概要

Cisco DNA Spaces は、物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携できるようにするマルチチャンネルエンゲージメントプラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco DNA Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。Cisco DNA Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- Cisco DNA Spaces ユーザーアカウントのロールベースのアクセスコントロール。
- エンゲージメントルールの訪問者エンゲージメントレポート。
- 新しい Outlook のパートナー API ドキュメント (パートナーダッシュボード)。
- パートナーアプリ (パートナーダッシュボード) の API キーを更新するためのプロビジョニング。
- Cisco CMX の AP 削除のサポート。
- Meraki の場合、bluetooth デバイスからの位置情報の更新に対応。
- ログ履歴に失敗したログイン試行を表示するための機能強化。
- グラフの精度を最適化するための行動メトリクスレポートの D3 フレームワーク。
- データキャプチャフォーム (ランタイム) に生年月日フィールドを含めることが可能になった。

新機能：2019年8月

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

次の新機能が Cisco DNA Spaces ダッシュボードに追加されました。

ロールベースアクセスコントロール

Cisco DNA Spaces のユーザーアカウント管理機能が強化され、ロールベースのユーザーアカウントが提供されるようになりました。このロールベースのアクセス制御機能を使用すると、個々のアプリへのアクセス権を持つユーザーを招待できるため、さまざまなアプリへのさまざまなアクセス権を持つユーザーロールを作成できるようになります。たとえば、キャプティブポータルアプリでは読み取りと書き込みのパーミッションを持ち、Operational Insights アプリでは読み取り専用のパーミッションを持つユーザーロールを作成できます。Operational Insights と BLE Manager アプリで読み取り専用の別のユーザーロールを作成できます。同様に、提供されるさまざまなサービスを組み合わせて、必要な数のユーザーロールを作成できます。以前は、Cisco DNA Spaces は特定の事前定義されたユーザーロールのみを提供し、カスタムユーザーロールを作成するプロビジョニングはありませんでした。

さらに、キャプティブポータルなどの特定のアプリでは、特定のアプリからユーザーを招待して管理できます。キャプティブポータルアプリには、ユーザーを管理するための [User Management] オプションがあります。キャプティブポータルアプリには、ユーザーロール [Creative User] と [AccessCodeManager] があります。

Cisco DNA Spaces ダッシュボードでは、Cisco DNA Spaces ユーザーを招待する [Users] オプションの名前が [Admin Management] に変更されました。

Cisco DNA Spaces アカウントが作成されると、提供された電子メール ID を持つアカウントに対して Dashboard Admin Role ユーザーが作成されます。このダッシュボード管理者は、他のユーザーを Cisco DNA Spaces に招待できます。

Cisco DNA Spaces は、デフォルトのユーザーロールである Dashboard Admin Role のみを提供します。

- ACT ライセンスの場合、デフォルトでは、Dashboard Admin Role には、サービス、DNASpaces（ダッシュボードの左ペインのメニュー項目、および行動メトリクス、OpenRoaming、Location Analytics、エンゲージメント、ロケーションペルソナの各アプリを含む）、CaptivePortals および OperationsInsights への読み取りおよび書き込みアクセス権が付与されます。
- SEE（基本）ライセンスの場合、デフォルトでは、Dashboard Admin ロールではDNASpaces にしかアクセスできません。
- ダッシュボード管理者ロールがBLEManagerなどの他のサービス（アプリ）へのアクセスを必要とする場合は、Cisco DNA Spaces サポートチームに連絡する必要があります。

エンゲージメントルール：訪問者のエンゲージメントレポート

新しいレポート、[Visitor Engagement]は、エンゲージメントアプリで利用できるようになりました。訪問者エンゲージメントレポートには、設定したエンゲージメントルールに基づいて、訪問者とのエンゲージメントの詳細が表示されます。[Engagement] ウィンドウで3本の平行線アイコンをクリックすると表示されるメニューで、新しいオプションの[Visitor Engagement]が利用できるようになりました。

パートナー ダッシュボード

パートナーダッシュボードで、[API Documentaion] をクリックすると表示されるオンラインヘルプが改良され、別の外観で表示されるようになりました。新しいオンラインヘルプはXMARTによって機能強化されています。

Cisco DNA Spaces パートナーダッシュボードと統合されているパートナーアプリの場合、Cisco DNA Spaces を特定のアプリに接続するための API キーを更新できるようになりました。API キーを定義してから 90 日後に、API キーの更新を推奨するメッセージが表示されます。ただし、API キーの更新はオプションです。API キーにカーソルを合わせると、新しい [Renew] ボタンが表示されるようになりました。Sandbox、Pre Production、Production 環境で個別に API キーを更新できます。

Network Sync サーバー：AP 削除のサポート

ネットワーク同期サーバーでは、Cisco CMX から削除された AP の削除をサポートするようになりました。以前は、そのような AP はバックエンドから手動で削除する必要がありました。

Bluetooth デバイスからの位置情報の更新 (Meraki)

Meraki ネットワークの場合、Cisco DNA Spaces は、Bluetooth デバイスからの位置更新の受信をサポートするようになりました。Bluetooth デバイスからの位置の更新は、行動メトリクスレポートに反映されます。

Cisco DNA Spaces ランタイム

次の新機能が Cisco DNA Spaces ランタイムに追加されました。

データ収集フォーム

キャプティブポータル [Data Capture] フォームで、生年月日フィールドの追加がサポートされるようになりました。GDPR を有効にしている場合、[Data Capture] フォームに [Date of Birth] フィールドを含めることはできません。生年月日は、[Enable Age Gating] または [Date of Birth] フィールドのいずれかから実行時にキャプチャされます。現在、このフィールドはダッシュボードでサポートされていません。データキャプチャフォームに [Date of Birth] フィールドを追加する場合は、Cisco DNA Spaces サポートチームに連絡する必要があります。

また、[GDPR-Age Gating] および [Strict] モードでは、年齢を選択するためのドロップダウンリストが Date Picker に置き換えられました。

機能強化：2019年8月

Cisco DNA Spaces ダッシュボード

Cisco DNA Spaces ダッシュボードには、次の変更が加えられました。

ログ履歴拡張

[View History] リンクをクリックすると表示されるログ履歴が拡張され、特定の Cisco DNA Spaces アカウントへの失敗したログイン試行が表示されるようになりました。以前は、成功したログインのみがログに記録されていました。

行動メトリクス

D3 Framework は、行動メトリクスチャートで実装されています。以前は、JQwidget は行動メトリクスチャートで使用されていました。この機能強化により、ギャップのないより正確なチャートを表示できるようになりました。

不具合

不具合では、Cisco DNA Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNN というパターンで、*x* は任意の文字 (a ~ z)、*N* は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

Cisco Bug Search Tool

Cisco Bug Search Tool (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決のバグ

表 1: 未解決のバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvr12826	ダッシュボードにログインできず、タイプエラーがスローされ、大文字は機能していない
CSCvq31873	LIVE : Webex チームの URL オプションとエンゲージメントルールのメールオプションを取得できない
CSCvr21932	RBAC : V3 SNMP バージョンを使用してコントローラを作成できない (コントローラの作成に失敗)
CSCvq83680	RBAC : 特定の場所にアクセスできる管理ユーザーは、ダッシュボードにログインできない。
CSCvq83686	広告ブロッカーが有効になっていると、ダッシュボードを起動できない。
CSCvr22232	パスワードの有効期限が近づくと、ユーザーはパスワードを変更できなくなる
CSCvq99869	ポータル : アセットを含むポータルをコピーすると、新しく作成されたポータルにアセットが追加されない。
CSCvp96608	セットアップ ウィジェット インポート コントローラの数 Spaces コネクタに対して正しくない。
CSCvq09339	コントローラのバージョンは、WLC で設定された実際のバージョンから変更される。
CSCvq79945	RBAC : ライセンスタイプのロゴはクリック可能ですが、クリックしても何も起こらない。
CSCvq79930	RBAC : トークンの有効期限が切れている場合、アクティベーションリンクをクリックすると、「ユーザーをアクティベートできませんでした」がスローされる。
CSCvq41890	RBAC : ACM ユーザーにログインすると、最初に CP にリダイレクトされ、次に ACM ページが表示される。
CSCvq24076	Right Now : ロケーション階層を変更すると、既存の関連するカウンタがクリアされない。
CSCvp57525	ロケーション分析 : 滞留時間の値が小さい場合、滞留時間内訳チャートで滞留時間範囲 % が重複している

CDETS ID 番号	説明
CSCvr23534	訪問開始時に SSID 情報を受信せず、後から受信した場合、訪問者数が正しくない。

修正されたバグ

表 2: 修正されたバグ

CDETS ID 番号	説明
CSCvp46851	小売業：散布図にカーソルを置くと、ツールチップに複数のポインターがあった。
CSCvr12782	基本サブスクリプションアカウントの WLC Direct ウィジェットのトークンを表示できない。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。